

葛城市

市議会報告

はじめるネット

2021年8月
(令和3年)

通算第16号

●葛城市議会議員

吉村 始

はじめ



バックナンバーはこちら▶

<https://www.hajimerunet.com>



次世代つなぐ市民目線



「一般質問」連続15回

皆様の声を 行政に届け続けました

初当選直後の2017年12月議会から今年の6月議会まで15回の定例会が開かれ、この間連続15回、38のテーマで一般質問を行ってきました。

一般質問は「議員が市長など行政側に対して市政全般について質問したり説明を求めること」で、議員の大切な権利です（議員一人の持ち時間は葛城市では1時間以内）。私は議会での質問と皆様への議会報告とは大事な仕事と考えて、毎回欠かさずやっています。

議員の提言を行政に取り入れてもらうのは簡単ではありません。しかし質問を繰り返すなかで、いくつか実現にこぎつけることができました。

議会でのパネル使用は私が始めました。今は他の方も使っています。



校区検討の視点
(はじめ案)

- ①施設と児童数
- ②学年と児童数
- ③通学の負担等



はじめ議員 テーマ別回数ランキング

テーマ	回数	はじめ議員の提言など
子育て・教育	6回	新生児聴覚検査公費補助 実現
尺土駅周辺整備	5回	駅舎エレベータ早期設置 実現
スポーツ施設整備	5回	全国中学校サッカー大会 成功
社会教育施設	4回	図書館などの充実を
防災・安全	4回	安全で安心して暮らせるまちに
住民の行政参加	3回	住民の声が反映される市政に

ほかに、貧困対策、防犯関連……各2回など

私の提言が実現しました！



尺土駅舎南側にエレベータ設置！

実現

尺土駅前広場は、2010年の当初計画では、右の図のように歩道橋を架ける形で設計されました。

私は、この計画だとエレベータの設置まで今からさらに約5年の年月がかかること、雨の日にエレベータに乗るには傘を差して歩道橋を渡る必要があることを指摘し、「歩道橋の建設は後回し」「駅舎のすぐ横にエレベータを設置」「駅舎とロータリーとは横断歩道で行き来する」案を提言しました*。

【早い】 来年度中にエレベータを利用できる

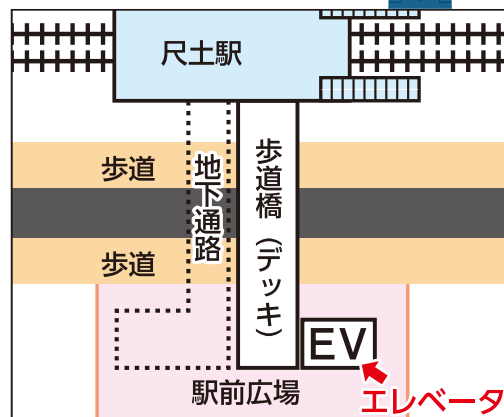
【安い】 歩道橋が不要で工事代もぐっと安く

【安全】 改札出たら、雨に濡れずにエレベータ

6月議会で市と議会は、以前から私が主張していた提言に近い形に計画変更することを合意！今年度中に設計が行われ、来年の夏には工事が始まる予定です。

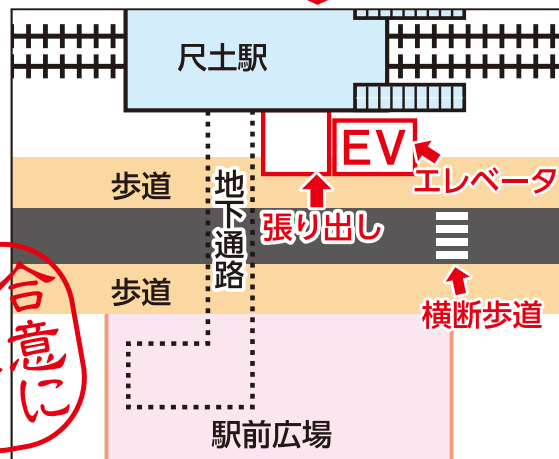
*はじめ案の詳細は本紙第13号

葛城市の当初計画



はじめ議員案

貢献
合意に



全中サッカー大会 天然芝のピッチ好評！

成功



▲全国中学校サッカー大会当日
(新庄第1健民運動場)

▲芝の管理を学びに
(静岡県静岡市)

新町運動公園の2箇所のグラウンドは葛城市自慢の天然芝ですが、管理不足のため荒れていました。しかし、教育委員会など関係者の努力のおかげで見事復活！試合当日も美しい芝生が好評でした。

新生児聴覚検査 公費補助！

実現

生まれつきの聴覚障害を早く見つけて療育につなげるための検査です。国が推奨していて、奈良県議会でも公費補助の請願が出されていたものです。



大事な仕事である議会での一般質問を、これからも続けます。そして、教育環境の改善や道路の整備、市民の政治参加、貧困問題、化学物質が原因の香害など、いろいろな問題について、実現に向けての提言を行ってまいります。

6月議会 一般質問 (6月17日)



新聞と新刊雑誌は閲覧中止して感染対策をしたうえで開館中 (京都市醍醐中央図書館)

狭い踏切の安全確保を

葛城市内には幅が2メートル以下の踏切道が11箇所あります。私は以前から「踏切の拡幅」という皆様の声を何度も聞いていて、解決方法をいろいろ調べてきました。道路を利用する私たちは「踏切道の幅が広がれば安全性が高まる」と考えますが、鉄道事業者（近鉄）は「踏切の面積が増えれば事故のリスクが高くなる」と考えているところが、この問題の難しいところです。

私も引き続き努力するので、市民の願い実現のために市も尽力してほしいと要望しました。



▲狭い踏切道の一例「尺土第6号」

社会教育施設の休館 判断に現場の声を

コロナ禍のなか、阿古市政は感染対策に力を入れてきました。関係者の皆様の日頃の努力の甲斐あって、葛城市が迅速にワクチン接種を始められたことは、市民から高い評価をいただいています。

市では「感染防止のため」5月末までの予定だった公共施設の臨時休館を6月20日まで延長しました。図書館や博物館などの社会教育施設や体育館などの体育施設は、それぞれ性格と役割とが異なる施設ですが、市は一律に休館の判断をしました。



閲覧席数を半分に減らして開館中 (香芝市民図書館)



消毒しやすく対策した中で開館中 (平群町立図書館)

しかし、奈良県内の市立図書館で6月に休館したのは葛城市だけでした。他市は写真のように工夫をこらして開館した所がほとんどでした。

公共図書館の目的は「市民に対する知識と情報の提供*1」であり、博物館も「人々の日常生活に不可欠な社会教育施設*2」であると私は考えます。コロナ禍の今だからこそ、社会教育施設が果たせる役割があるのです。たとえば感染防止に役立つ資料や相談窓口情報を提供できれば、コロナ禍に悩んでおられる市民の不安解消が期待できます。

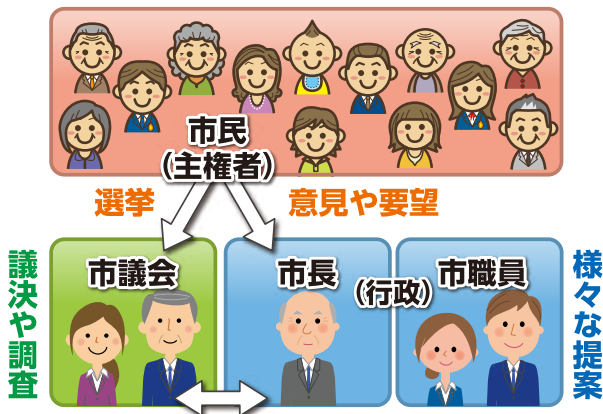
社会教育施設は、図書館法や博物館法などに基づいて設置されています。その目的は、専門職である司書や学芸員が一番理解しているはずです。市は人事配置も含めてもっと専門職、技術職の果たせる役割を重視して市政に活かすべきです。

*1 元・千葉県浦安市立図書館館長で現・立命館大学教授の常世田良さん『浦安図書館にできること』勁草書房

*2 東京国立博物館館長で日本博物館協会会長の銭谷眞美さんが、緊急事態宣言下の地域の知事宛に出された文書

吉村はじめ 3つの取り組み

市政のイメージ



①住民参加の葛城市政

「市政の主役は市民」「市政のことは市民が判断」が私の活動の原点です。市民の皆様に必要な情報を伝えることに努めてまいります。

②教育・保育の充実を

校区割をはじめとする教育の地域格差の解消や保育・子育て問題に取り組んでまいります。



③地域に活気と賑わいを

尺土駅周辺整備も取り組みの一つ。「道の駅」のさらなる活性化の提言も行っております。

吉村はじめ プロフィール

葛城市議会議員 (1期目)

現在、厚生文教常任委員会副委員長
議会だより編集委員長

議会の力
合わせて

*「葛城市議会だより」リニューアル!

3年
連続



きんじゅうどう
金壽堂出版有限会社代表取締役
図書館とまちづくり奈良県ネットワーク役員
西和立命会役員、金錫会会員

1968年1月1日 新庄町疋田生まれ

新庄北小、新庄中、畝傍高、立命館大文学部卒
滋賀県で司書として図書館開設に携わる
出版界に転じ、京都の出版社に勤務
自ら出版社を創業 (大阪府枚方市)

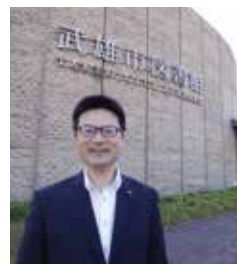
2004年 葛城市誕生とともに故郷に戻って法人化
葛城市市政モニターに参加

NPO法人葛城市きてみてネット活動

2017年～葛城市議会議員



吉村はじめと始める会
タウンミーティング開催



話題の図書館を視察
(佐賀県武雄市)

★本紙は、ご支援下さる方々と家族とで手配りしています。ご希望の方には、バックナンバーの郵送も行っています。

毎号、丹精込めて つくっております

過去の号もぜひ
お読みください

バックナンバー
はこちら▶



発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379 電話&FAX 0745-69-7590

<https://www.hajimerunet.com>

